

第52回ギャラクシー賞で 「ネットワーク1・17『20年～大震災と向き合う日々』」 がラジオ部門で優秀賞

放送批評懇談会による第52回ギャラクシー賞で、MBSラジオの「ネットワーク1・17『20年～大震災と向き合う日々』」が、<ラジオ部門>の優秀賞を受賞しました。

「ネットワーク1・17『20年～大震災と向き合う日々』」は、阪神・淡路大震災発生から20年が経ち、震災直後に始まった番組「ネットワーク1・17」に出演してもらった人を追う事で、被災地の人達の20年の一端を伝えることができるのではと、長男、長女を亡くした米津さん一家を追いました。震災で人生が大きく変わった被災者が20年間をどのように過ごし、どのような思いにいきついたのか。そこには、震災と向き合うことで、変っていく20年がありました。また、番組では震災遺児にも話を聞きました。小島汀さんは、各地の被災地で親を亡くした子どもたちに自分の体験を話し続けています。父親を亡くした川口和徳さんは、新たな命を授かり、子どもとともに番組に出演しました。被災地の人達がこの20年、どう日々を重ねたのか。そして東日本大震災など各地で起こっている災害の被災者に、その20年を知ってもらえば、少しでも勇気をもたらすことになるのではと考え制作された番組です。

きょう行われた表彰式では「神戸の被災した家族を地元の視線で丹念に追いかけている。『ネットワーク1・17』という番組の20年の積み重ねがあってこそこの企画であり、その積み重ね自体も高く評価したい」と講評されました。

<記>

■第52回ギャラクシー賞<ラジオ部門>入賞作品

『ネットワーク1・17～大震災と向き合う日々』

放送日時：平成27年1月26日（月）20：00～21：00

出演：米津勝之・好子・英・凜

川口和徳・綾香・日向、小島汀

千葉猛（MBSアナウンサー）、豊崎由里絵（MBSアナウンサー）

以上